

数学

1 解答

$$\begin{aligned}
 (1) \quad (x-2)^4 &= \{(x-2)^2\}^2 = (x^2 - 4x + 4)^2 \\
 &= x^4 + 16x^2 + 16 - 8x^3 - 32x + 8x^2 \\
 &= x^4 - 8x^3 + 24x^2 - 32x + 16 \quad \dots\dots(\text{答})
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (2) \quad &(x+1)(x+2)(x+4)(x+8) + 2x^2 \\
 &= \{(x+1)(x+8)\}\{(x+2)(x+4)\} + 2x^2 \\
 &= (x^2 + 9x + 8)(x^2 + 6x + 8) + 2x^2 \\
 &= \{(x^2 + 8) + 9x\}\{(x^2 + 8) + 6x\} + 2x^2 \\
 &= (x^2 + 8)^2 + 15x(x^2 + 8) + 56x^2 \\
 &= \{(x^2 + 8) + 7x\}\{(x^2 + 8) + 8x\} \\
 &= (x^2 + 7x + 8)(x^2 + 8x + 8) \quad \dots\dots(\text{答})
 \end{aligned}$$

2 解答

(1) $k=1$ のとき

$$f(x) = x^2 - 2x + 8 = (x-1)^2 + 7$$

$y=f(x)$ の頂点の座標は $(1, 7)$ であり, y 軸と $y=f(x)$ の交点の座標は $(0, 8)$ である。……(答)

$$\begin{aligned}
 (2) \quad f(x) &= x^2 - 2kx + 5 + 2k^2 + k \\
 &= (x-k)^2 + k^2 + k + 5
 \end{aligned}$$

$f(x)$ の最大値を $M(k)$, 最小値を $m(k)$ とおく。

$M(k)$ を求める。

$$\left. \begin{array}{l}
 k \leq \frac{1}{2} \text{ のとき} \quad M(k) = f(1) = 2k^2 - k + 6 \\
 \frac{1}{2} \leq k \text{ のとき} \quad M(k) = f(0) = 2k^2 + k + 5
 \end{array} \right\} \dots\dots(\text{答})$$

$m(k)$ を求める。

$$\left. \begin{array}{l} k \leq 0 \text{ のとき} \quad m(k) = f(0) = 2k^2 + k + 5 \\ 0 \leq k \leq 1 \text{ のとき} \quad m(k) = f(k) = k^2 + k + 5 \\ 1 \leq k \text{ のとき} \quad m(k) = f(1) = 2k^2 - k + 6 \end{array} \right\} \dots\dots (\text{答})$$

(3) $g(k) = M(k) - m(k)$ である。

$k \leq 0$ のとき

$$g(k) = 2k^2 - k + 6 - (2k^2 + k + 5) = -2k + 1$$

$0 \leq k \leq \frac{1}{2}$ のとき

$$\begin{aligned} g(k) &= 2k^2 - k + 6 - (k^2 + k + 5) \\ &= k^2 - 2k + 1 = (k-1)^2 \end{aligned}$$

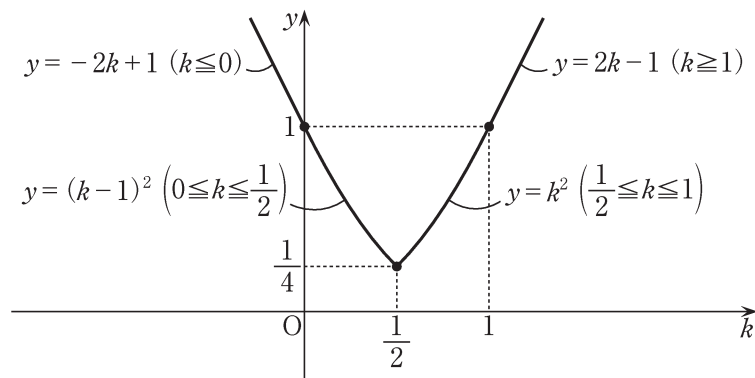
$\frac{1}{2} \leq k \leq 1$ のとき

$$g(k) = 2k^2 + k + 5 - (k^2 + k + 5) = k^2$$

$1 \leq k$ のとき

$$g(k) = 2k^2 + k + 5 - (2k^2 - k + 6) = 2k - 1$$

以上より, $y = g(k)$ のグラフは下図のようになる。

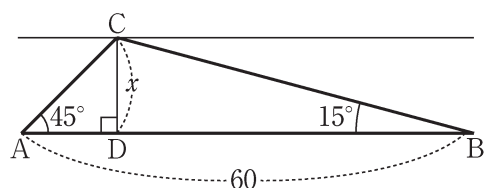


3 解答

(1) $\angle ACB = 120^\circ$ である。正弦定理を用いて

$$\frac{BC}{\sin 45^\circ} = \frac{60}{\sin 120^\circ}$$

$$\frac{BC}{\frac{\sqrt{2}}{2}} = \frac{60}{\frac{\sqrt{3}}{2}}$$



$$\therefore BC = \frac{60\sqrt{2}}{\sqrt{3}} = 20\sqrt{6} \text{ [m]} \quad \dots\dots(\text{答})$$

(2) $CD = x \text{ [m]}$ とおくと, $AD = x \text{ [m]}$, $BD = 60 - x \text{ [m]}$ であるから, $\triangle BCD$ で三平方の定理を用いて

$$x^2 + (60 - x)^2 = (20\sqrt{6})^2$$

$$2x^2 - 120x + 1200 = 0$$

$$x^2 - 60x + 600 = 0 \quad \therefore x = 30 \pm 10\sqrt{3}$$

$\angle CAB > \angle CBA$ より D は AB の中点よりも A の側にあるから, $x < 30$ であり, $x = 30 - 10\sqrt{3}$ である。よって

$$CD = 30 - 10\sqrt{3} \text{ [m]} \quad \dots\dots(\text{答})$$

(3) $BD = 60 - (30 - 10\sqrt{3}) = 30 + 10\sqrt{3}$ であるから

$$\begin{aligned} \cos \angle CBA &= \frac{BD}{BC} = \frac{30 + 10\sqrt{3}}{20\sqrt{6}} \\ &= \frac{3\sqrt{6} + 3\sqrt{2}}{12} = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

4 解答

(1) 正解数を x , 正解数以下の人数の割合を y とする。

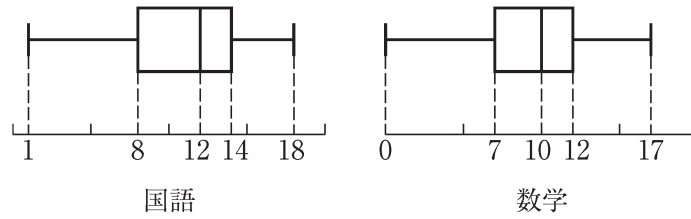
国語の正解数の中央値は, 国語のグラフで $y = 50$ のときの x であり, 12 である。……(答)

数学の正解数の第1四分位数は, 数学のグラフで $y = 25$ のときの x であり, 7 である。第3四分位数は, $y = 75$ のときの x であり, 12 である。よって, 正解数の四分位範囲は $12 - 7 = 5$ である。……(答)

(2) 正解数の最小値は, はじめて $y > 0$ となる x であり, 正解数の最大値は, はじめて $y = 100$ となる x である。四分位数については(1)と同様に考えると, 国語と数学の正解数の最大値, 最小値, 四分位数は下の表のようになる。

	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
国語	1	8	12	14	18
数学	0	7	10	12	17

よって, 国語と数学のテストの結果の箱ひげ図は下のようになる。



(3) A. 18 B. 17 C. 国語 D. 数学 E. 国語

(完成した文章) 国語と数学のテストの結果を比べると、国語の最大正解数は(18)問、数学の最大正解数は(17)問であり、『国語』のほうが最大正解数は多く、また『数学』には正解数が0問の人がいた。その他、四分位数をみても『国語』のほうが、全体的に正解数が多いほうに分布していることがわかる。